



東北地方 地方通信

岩手縣の縣道改修

岩手縣の平泉中尊寺と嚴美溪間の縣道は、數年前兩地間の遊覽者、參詣客が非常に多

いに鑑み山を掘り割るやら川をつぶすやら隨分無理をして開鑿したもので現在道幅五キロのうち本年度は二キロを改良し二ヶ年繼續の豫定である。

岩手縣の紅葉狩道路

岩手縣花巻營林署では台温泉から鉛温泉に通ずる林道を開鑿し紅葉客の便をはかる計画を樹てたが之れは六郎山の麓を抜けて台の開墾地から鍋割川に出で大森山に出づる紅葉の絶景地を紹介するための延長一萬メートル幅二メートルの牛馬道にして、本月下旬着工十月下旬完成の豫定である。而して工費は一千二百圓である。

宮城縣遠田郡南郷村素封家野田慎氏は單獨寄附を以つて南郷村から一直線に桃生郡北村に通ずる產業道路の開設中であつたが近く完成するのに竣工の曉には志田郡東部、遠田郡南部を經て桃生、牡鹿に至る四郡縦貫道路として産業振興上面目を一新するので關係地方民は非常に感謝してゐるが、これと反対に野田町民は野田道路の完成によつて同地方の物資集散が自然浦谷町を度外視するので、これが對策として同町を基點とし元涌谷を經て大貫村に通する所謂大貫道路の改修を期し、新開地日高見農場を中心として生産する三萬石の穀物吸集場を計ることになり過般同町商工會、愛郷會幹部が實地踏査を遂げた結果、大貫山王道路の改修は極めて重大な産業道路なので近頃關係三ヶ町村及びその他各種團體幹部の協議會を酒谷町役場に開催し具體的協議を遂げることになつたが、同町は南に野田

道路北に大貫道路の改修によつて各種産業の開発に非常な便利を與へるに至るであらうと期待されてゐる。

宮城縣氣仙沼町道の鋪装

計畫

宮城縣氣仙沼町道の鋪装化は昭和四年の氣仙沼大火後の懸案であるが、工費數萬圓を要するところから、財源難のため計畫のみにて、未だに實現に至らなかつた、然るに最近停車場、魚町間の縣道鋪装化が叫ばれ近く受益者負擔その他について該道路沿道地主協議會が開かれる手筈になつたところから町道の鋪装化が再び要望されて來たので、町では町道主要幹線だけでも實現させ度いと近く具體的調査に着手することになつたが、主要幹線の延長は約四千間工費は約五萬圓を要する見込みで、財源の關係から四ヶ年乃至五ヶ年の繼續事業として計畫されることにならう。

宮城縣の大谷橋の完成

秋田縣の道路と橋梁の改良

宮城縣鳴子峽谷に景觀を添へる大谷橋架替工事は今回竣工し、九月二十七日鳴子神社秋祭をトして落成式を舉行した。同橋は

鐵筋コンクリートで長さ約七十米、幅員約六米工費約三萬五千圓で昨年十一月着工したものである。

新橋の完成によつて鳴子峽谷に二名所が加へられたわけで電燈照明も近く完成す

るものである。

秋田縣増田の縣道鋪装

秋田縣下のトップを切つて着工した平鹿内

郡増田町と十文字驛間の縣道鋪装工事は増田町内の九百メートルを本年度事業として目下盛んに工事中だが從來の凸凹道がアスファルトを以て既に八百メートルはスマートに鋪装され残りの百メートルも本月中旬に完成の豫定である。

山形縣の道路の改良

山形縣土木課では明年度において山形天童間の國道を工費七萬圓にて鋪装する計畫であるが、石原知事も非常に乘氣だから實現を見るであらう。鋪装區間は約三里の長距離であるから交通運輸上非常な便利を與へることとなるであらう。更に明年度に至れば今年開鑿完成する上の山、山形間の產業道路も工費七萬圓にて鋪装される。兩區間はいづれも温泉郷に達する路線だから遊覽道路ともなるである。なほ同課では今年中山形市旅籠町大通四辻から吉野屋藥店四辻に至る間の國道を鋪装する豫定であるが、この工費は八千圓で現在工事中の縣廳前と旅籠町一丁目通りが終れば直に着工する豫定である。その他鶴岡市では駒前から大泉橋に至る道路の鋪装を計畫している。

福島縣の橋梁の架替

福島縣土木課では五ヶ年計畫にて縣内の土橋、木橋を鐵筋コンクリートに架替へる計畫を樹立し、明年度から着手すべく工事個所を選定し設計を急いで居たが、九月十四日左記七橋が決定したので、何れ九月十八日所管監督所で請負入札を行ひ十月初旬から着手することとなつたがこの工費は二十萬圓位である。

△幸平橋(河沼郡野澤町) △よどみ橋(耶麻郡鹽川村) △柳橋(北會津郡神指村)

△本宮橋(安達郡本宮町) △川口橋(河沼郡川口村) △大橋(西白河郡白河町)

△櫻木橋(東白河郡常豐村)

關 東 地 方

栃木縣の橋梁の架替計畫

栃木縣では同縣土木事業史上に當て見ざる偉觀である左記八大橋梁を總工費七十二萬圓を以て架替へる計畫を樹立した。初年度たる九年度に於ては四十二萬圓を投じて荒川橋、幸橋、御成橋、戸川橋の四大橋梁の架替を完成する豫定にて着手工事を進めてゐる。其他は二ヶ年繼續事業である。

各橋梁工事費並に様式左の如し。

一 荒川橋八萬八千圓、鐵筋コンクリート
丁壯型

海洋公園の實現に微妙な關係を持つ磯濱海門橋間の觀光道路については土木課で詳細調査中であつたが二十一日その調査が出

來上つた。それによると、第一號線(磯濱町壽町より大洗ホテル前まで)は工費七萬八千圓で延長一千八百メートルを幅員七・五メートルにし、第二號線(大洗神社島居前より海門橋に至る)は工費九萬五千圓で延長二千四百メートルを幅員七・五メートルにするのである。而して此等第一、二號線は來年度に於て施工する豫定である。

様式、同右

一、幸橋三萬二千圓、様式右同

一、保橋七萬七千圓、初年度支出四萬圓、

様式同右

一、觀晃橋十萬三千圓、初年度支出五萬圓

様式右同

一、戸川橋六萬五千圓、様式同右

一、中岩橋四萬九千圓、初年度支出三萬三

千圓、様式鋼拱橋

一、御成橋四萬二千圓、様式構鋼鐵橋

埼玉縣の橋梁改良工事

埼玉縣北葛飾と對岸千葉縣の沿岸民が多年唱道しつゝある江戸川架橋問題につき土木課では明年度にこれが實行を期し總工費

八萬圓中地方寄附一萬圓、千葉縣負擔四萬圓本縣は三萬圓を支出するはずで豫算に計上することに決定したが明年度の繼續施行される本縣の橋は中瀬、神流川、渡戸、秋ヶ瀬の四橋と合せて五大橋の工事が行はれる譯であり千葉との交通施設に恵まれなかつ

た地元早稻田村始め縣東地方の關係民は大喜びである。

東京輕井澤間國道の鋪裝化

内務省は東京、輕井澤間の國道を改修し

自動車のドライヴに便する事とし、目下群馬縣多野郡新町、高崎間の擴張と鋪装工事を進め倉賀野町は八間道路に改良鋪装するので家屋の移轉を行つてゐるが、本年中に工事が完成し東京、高崎間は立派な道路になり高崎、輕井澤間も松井田町付近の一部工事をすれば完成するわけである。

神奈川縣の縣道改良計畫

縣土木部では明年度において時局匡救事業として執行する農振興府縣道改修計畫

につき各土木出張所の提出案を基本に約四ヶ月にわたり銳意研究調査を遂げ各地元の要望を参考として施工路線を選定した結果總工費八十四萬五千圓を以て府縣道二十四路線の改修を實施するに内定、内務省と合

議の上通常縣會に提出することになつた、その内容は十四萬圓をもつて箱根圓鶴の改修を繼續施工する外大體本年度において施工の時局匡救府縣道改修路線の延長にして、

△厚木御殿場線△川崎府中線△神奈川下馬崎線△鎌倉三崎線△愛川八王子線△横濱中野線△浦賀三崎線△國府津松田線

等の改修を續行し小田原熱海線の難關たる小田原内地の改修を斷行し先に四十三萬一千圓で計畫中の辻堂停車場、辻堂線及び茅ヶ崎停車場茅ヶ崎線新設、改修工事を施工し湘南道路と一號國道との連絡を計る意向で各郡市に事業の均衡を計るやう案配したものである。

神奈川縣の循環道路網

丹那トンネルの貫通による熱海經由の東海道線の完成が近づくに連れ箱根國立公園の指定と共に今後の箱根、湯河原、小田原方面は異常の發展が期待されて來たので縣

でもこれを好機として同方面の開發に努めることとなり、すでに地元小田原町と提携

し鐵道省に急行列車の小田原停車を實現す

べく運動を續けてゐるが他方箱根觀光交通網の完備充實を期しいよいよ來る九月から工費三十萬圓で三ヶ年繼續事業として箱根湯河原眞鶴を連絡する府縣道箱根眞鶴線の開鑿工事に着手することに決定した。

この道路は湯河原より鞍掛山の東南急峻を巡り箱根町に通するもので相模灘から遙か大島までを一望に收め得る秀麗な觀光道路として延長五里幅員三間現在の箱根熱海

間専用道路より遙に海洋山岳の景に富んだ優秀な徒步道路となるものでこれが完成すれば將來蘆ノ湖を巡る箱根御殿場線と連絡し湯河原から箱根、山伏峠、長尾崎を経て國道に沿ひ湯本、小田原に通ずる一大遊覽循環道路の完成となり同方面の誘客上一段の魅力を加へるものとして期待される。

神奈川縣田島線の開通

川崎の大動脈である產業道路田島線の三ヶ年にわたる永い難工事はほとんど營業休止の状態に陥つて居たので沿道の各商店は非常な不便を蒙つてゐたが同道路工事は今回竣工したので同町民は漸く更生の喜びに満ちゝ來月一日から三日間新川通り貝塚兩區の商店街で組織されて居る貝新會が主催となつて開通祝賀の大賣だしを行ふ豫定である。

北陸地方

新潟縣の國道改修請願

新潟縣高田市直江津新井両町並に和田、金谷、春日三ヶ村が聯合して昨秋來計畫中の國道第十一號線直江津新井間の改修期成運動はいよいよ輿論の喚起にも成功したので川合高田市長は九月十五日夜上市、さき

に上京中の林直江津町長と共に左記請願書を携へ内務省に直接運動を開始した。

国道改修に關する請願

國道第十一號線中新潟縣中頸城郡新井町（小出雲坂）より高田市を經直江津町に至る延長約五里餘の間路線改修に付託で茲に請願致候本路線は長野縣より十號路線を分歧し石川縣に至る道路にして表日本裏日本を連繫する北陸唯一の重要縱貫幹線に有之行線迂回線等全く是を國家的路線の見地より見るも極めて重要性を帶び居り就中前記新井町直江津町間は長野縣界を離れ始めて頸城平野の中央を貫通する部分にして國境道路の延長とも言ふべく廣闊なる此地方一帶の物貨の集散旅客往來は凡て本路線を以て其の根幹となし交通運輸極めて頻繁地方文化の核心を構成し居る狀態に有之然るに該道路は舊態依然往昔の儘放置され未だ一同も部分的改修すら實現するに至らず屈曲狭隘甚しく其の交通運輸上支障を及ぼす

こと實に甚しく近時旅客貨物自動車の定期運行激甚となり其數幾百なるを知らず益々困惑を重ねつゝあるの現況に有之之れが改修を要望するや済に切なるもの有之候然れども總延長五里餘に亘り其の改修を實行せむには地方費のみを以てしては能く負擔に耐ゆべくも無之承る所に依れば政府に於かれては時局多端の折柄なるに拘はらず地方農村の匡救失業救済の爲めに殊に此等重要路線の改修等に多額の國幣を御投し相成居り候とのことに有之済に時宜に適したる御舉措として感激に堪へざる所に有之候就ては該道路の儀殊に御考定の上格別の御取計により國費を以て御改修被成下度謹んで請願仕候也

昭和八年九月

新潟縣高田市長

川合直次

新潟縣中頸城郡

直江津町長林圭助

新潟縣中頸城郡

地方通信信

東山地方 山梨縣の富士一周道 路改修の完成

内務大臣男爵
山本達雄殿
代理助役木島七太郎

新潟縣中頸城郡春日村長
金谷村長野崎一郎
新潟縣中頸城郡

新井町長島田善治

栖湖畔から静岡縣へ達する富士一周道路は谷本土木出張所で銳意改修工事中の所漸く完工、十九日完工検査を行つた、これで今秋からは惡道路の名も除かれ關西方面からの五湖遊覽者には絶好なドライブウェーが拓かれたわけである。

山梨縣の林道の改良

御坂山脈中の最高峰河口湖畔十二ヶ岳に到る南都留郡大石村から延長約八キロの林道開設工事は多年の懸案であつたが同村では八年度匡救土木事業として着工するに決し既に測量及び林道豫定線の樹木を伐採する縣の指令を得てゐるがこの道路完成により從來はアルビニストにのみ知られた猿群のすむ仙境もいよいよ世に紹介され岳麓名所が又一つ殖える事となつたが同山脈一帶の薪炭搬出も便利となり産業的にも非常に期待されてゐる。

中國地方

廣島縣福山の匡救道路

廣島縣高田郡の産業道路

福山市神島橋の改良計畫

草戸大橋とともに福山市の西玄關をかぎる蘆田川の神島橋新橋の位置が今回漸く決定した。それに依ると現在の箇所から約百メートル下流で、西岸取付道路は瀬戸川左岸の新堤を利用した右岸の取付道路は蘆田川新堤の一部を利用し大體舊道によるところになつた。右岸取付道路用地の買収はこのほど大部分の調印を終つたので、本年度末から架替工事に着手する豫定である。架換へられる新橋は延長三百五十メートル、有効幅員七メートル五十のゲルバー式鋼鉄梁橋で、これが完成すれば蘆田川の風光をかざる新名所の一つとなるわけである、この設計書は目下内務省蘆田川改修事務所で査定中である。

廣島縣福山土木出張所では本年度匡救道路改修工事について目下設計中であるが工事は縣道七線、町村道九十五線、砂防四ヶ所、河川（瀬戸川）一ヶ所での工費豫算は縣道十二萬圓、町村道二十一萬七千五百圓、砂防二萬六千圓、河川九萬圓で縣道はすでに四線を工事中でその他は八月末から一齊に着工するが縣道の内緒は左の通りである。

廣島縣高田郡三田村では昭和六年から九年の四ヶ年匡救産業道路事業として、縣補助金四百圓をもつて同村貫通延長二千八百メートル幅員二メートルの道路を改修計畫をたてすでに第三期工事設計を終へ、十月ごろから着手の豫定だが、今年の工事施行方針は産業、交通上有効適切な道路の幅員の擴張鋪装を施し、場合によつては舊道を棄てゝ新道を開設して萬全を期する豫定である。

△蘆品郡宜山村向長谷地内福山一杵間線四千メートル、工費三千圓

△深安郡千田村地内神邊一沖浦線百六十メートル、工費二千圓

廣島縣の道路改修工事

地鎮祭

廣島縣山縣郡八重町民の待望久しがつた府縣道吉田一八重線（山縣郡八重町から壬生を経て高田郡吉田町にいたる）のうち、八重地内道路改修工事地鎮祭は、地元八重町の主催で九月十一日午後四時から右道路に沿ふ八重町乙熊磧において盛大に舉行さ

れた。

この改修工事は廣島縣の八年度土木匡救事業にして縣の直營で九月一日着工、延長一萬二千三百メートル幅員六メートル五十に改修されるもので、工費は約二萬四千圓、就労延人員約一萬二千人、一日平均七十人を使役し、事業の性質からして主として八重町内在住者を就労せしめてゐるが全線の竣工は明年三月二十日の豫定である。

廣島縣可部町の新道路

安佐郡中原村では今年度土木匡救事業として工費五千圓による可部迂曲線道遠延長支線可部稅務署附近から水主町を経て驛南側渡場里道に通ずる里道新設を申請中であつたが最近許可されたので、近く臨時村會を開いて協議のうへ近日中に着工、年末までに完成の豫定である。この新道路は延長五千メートルで幅員三メートル餘、完成の曉は可部驛附近裏通りの交通網は大いに刷新されるであらう。

れた。

廣島縣山間道路の改良

安佐郡伴村ではさきに廣島市と提携して同村平木から岐を越えて己斐町に通する

三に町の美化をはかつて同町の繁榮の素地をつくり、完全に往古の三名物を海田の里から退却させることよした。

(工費約十萬圓見積) 縣へ匡救土木事業編入に申請中であつたが、このほど伴村内一部を(工費六千圓) 認可されたので、いよいよ十一月中旬から着工するがさらに明、

明後年度の三ヶ年で完成を期して續行する

豫定だから問題の松山線も遠からず完成し廣島市と安佐郡を握手する交通網に一エボックをもたらすものと期待されてゐる。

廣島縣海田市町の街路

の美化

廣島縣海田市町では同町三名物の一つた会を開いて協議のうへ近日中に着工、今年末までに完成の豫定である。この新道路は延長五千メートルで幅員三メートル餘、完成の曉は可部驛附近裏通りの交通網は大いに刷新されるであらう。

高知市の道路の鋪装

高知市の割期的道政策たる市内道路の全面的鋪装は昭和七年度に時局匡救事業として着手され同年度において經費六萬二千圓を投じ延長距離三千百間を完了し、高知市民に一大利益を與へ、また街路美を輝かしたが更に本年度も繼續して行はれ市内の泥濘を改修する計畫を樹立し、本年度土木匡救事業として工費五千圓を投じ、右泥溝を埋立て、幅員八メートルの新町道を設置し、兩側に櫻樹數千本を植つけて、一に不潔を去り

二に蚊の發生を防止し

者救濟の大目的を達したる以外近代都市としての高知市の面目を一新せしめた大事業である、なほ鋪装された街路別を示すところである。

△昨年度 帯屋町、中島町、天神橋通り、蓮池町、中新町

△本年度 追手筋、北奉公人町、川岸端、高校前、帶田線、大鋸屋橋通り農人町、寛永堤通り、下島北横町、梅田橋通り、

縣廳前通り、蛤町、千年辻、廿代橋、南

松淵通り、北種崎町、紺屋町、山田橋通

り、幡多倉橋通り、朝倉町、要法寺町

なほ昨年度は日々平均三百名位を使用し

ており現在までの使用労働者延數は二萬六

千人である。尙昨年度より匡救事業として

はじめられた市道鋪装は九月末で全く終了

したが市土木課では繼續して市道路肩工事

下水浚渫および山田橋廿代橋の架換工事を

來年一月までになすはずで一日の失業者使役は百五十名より二百名位であると。

高知縣後免長瀆線刈松坂 の起工式

長岡郡三里村が昭和八年度の匡救事業と

高知縣の大釣橋の竣工

高知縣安藝郡馬路村大字魚梁瀬東川事業所附近より東北一帯に擴がる民有林——小石川森林の伐木を搬出するため、その經營者岐阜木材株式會社にては一萬三千圓の工

費を投じて魚梁瀬森林鐵道中の東川線に連結させる計畫の下に今年三月以来全國稀に見る大規模のつり橋小石川橋を余半利川上

流の同地に架設中であつたが這同竣工して二日午後一時より同橋附近にて盛大なる渡

橋式を舉行した。

同橋は延長七十米、幅員三米、水面よりの高さ四十米にして一本のビーグも無き全くの釣橋で木材を滿載したトロリー十臺をガソリン機關車が自由に引きつゝ通行し得るものである。

九州地方の 縣道擴張計畫

福岡縣甘木二日市間の

して工費千圓で施行する後免、長瀆線の同村水分布落より吹井に越す刈松坂切下工事はいよいよ着手の運びとなり九月十五日午後四時より刈松神社境内において各關係者参列の上起工式を執行した。

福岡縣朝倉郡甘木町より筑紫郡二日市町に至る一萬三千米の縣道は最近數年間に自動車の交通量激増した爲め非常な惡道路となり鋪装工事の必要が叫ばれ朝倉郡町村長會でもしばりこれを議題に上せて協議したが何しろ鋪装費九萬圓中二割五分の二萬二千五百圓が地元負擔金として割當られるので沿道に人家少き農村としては到底負擔しきれないところから何時も立消えとなつてゐたが最近に至り同縣道が縣の重要府縣

道改修工事十年計畫の一つに加へられてゐる幸ひこの改修工事を今直にやつて貰へば地元負擔金は一割で済むし大いに好都合だとの意見が具島甘木町長から述べられ甘木土木管區所でもこれに賛成してゐるの近く町村長會に諮ることとなつた、尙この改修工事は幅員を一間乃至一間半に擴張し路面の改修を行ふのみで鋪装をなさないものである。

福岡大分兩縣をつなぐ 市場橋の起工式

福岡縣築上郡南吉富村大字垂水より大分縣下毛郡鶴居村大字高瀬に渡る縣界山國川に架設の市場橋起工式並に地鎮祭は七日午前十時より垂水側に於て舉行された。

因に架橋同工事は橋長百四十四米、全幅員五米五、工費三萬八千餘圓で、兩縣負擔率は二分の一宛であり工事の都合上福岡縣側で直營のこととなり使役職工人夫延員數百三十九萬一千三百六十人で明春三月竣工の豫定である。

福岡縣東山村瀬高町 縣道の擴張

福岡縣山門郡東山村本吉から瀬高町に通ずる縣道は幅員極めてせまく清水登山、觀世音參詣の人々に大なる不便を與へてゐる

から清水寺並に本吉及一般地方民は極力同道路の改良を希望してゐたが過般村會の結果、實際的に着手する事となり清水寺再建會長梅野鐵太郎氏は約二千圓の寄附を義俠的に支出し地元民の醵金を併せ近々中より着手する事となつた。

に通知があつた。

× × ×

鳥根縣土木課では第二回道路交通情勢調査を機會として「道路愛護に關する標語」を募集したる處應募件數五百餘あつたが、其中から

「道路愛護當選標語」

里の人情道路が語る

(一等)

心一つで道路も光る

(二等)

一時の修路より不斷の愛護(三等)

の三種標語を賞選と決定して當選標語は

印刷に附し十月十八日より三日間八十

箇所の道路交通調査観測所に於て通行人に配付し道路愛護の觀念を喚起することとした。

長崎縣雲仙島原間の郵便遞送は小濱局經由のため從來二日間を要し、商取引上その他に非常な不利不便であつたので、縣では小濱自動車利用による雲仙、島原間の郵便路線實施を熊本遞信局に申請中のところ、愈々九月十六日から實施することになり縣

× × ×